



わくわく通信 第4号

おひさまだより

中井町立なかいこども園
発行責任者 園長 近藤智子
令和5年10月

木々の葉が色づき始め、季節は足早に移り変わっているようです。保護者の皆様におかれましては、日頃より本園の教育・保育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

令和5年度後期が始まりました。後期は、園外保育や保育参観、発表会等の行事を控えています。引き続き、子ども達が園生活を楽しみ、遊びを通して感じる「これはなんだろう」「どうしてだろう」という「探究心」や「友達と一緒にやってみよう」という思いを味わえる教育・保育を心掛けていきたいと思っています。

「キラキラの運動会！」

10月7日(土)に開催しました運動会には、多くのご家族の方にお越しいただき、そして子ども達の競技や演技に温かいご声援をいただき、本当にありがとうございました。

運動会当日は、3歳児は初めての運動会に緊張しながらも一生懸命に走った「かけっこ」、親子で踊った遊戯では、運動会に向けて取り組む中で、みんなと一緒に動きをすることが楽しいと感じられるようにかかわってきました。踊っていた子ども達からは、かわいい笑顔が溢れていたと思います。

4歳児の遊戯では、演技中のパラバルーンの膨らみ具合に納得が出来ず、「もう1回やりたい」と自分の思いをその場で担任に伝えられた子ども達に成長を感じると共に、会場の皆様がその気持ちに伝えてくださったことに感謝しかありません。子ども達は、自分達が出来ると思っていたことが出来なかった「悲しさ」を感じ、「自分達なら出来るはず」という強い気持ちでもう一度挑戦し、納得のいく演技が出来たことで「達成感」を味わい、「自信」にも繋がったと思います。5歳児は、園生活最後の運動会を「キラキラの運動会にしたい」と繰り返し言っていました。一人一人自分なりのめあて



をもって取り組んだ「表現」。その中での「中井音頭 TAKIO バージョン」は、園と小学校との連携の一環として7月と9月に井ノ口小学校体育委員と交流を持ち、分かりにくい振りを教えてもらいました。「色別リレー」では、練習のたびにチームで作戦を考え、勝敗にこだわり、特に当日は負けた悔しさをいつも以上に表していた子ども達です。その「悔しい」と思う気持ちも貴重な経験です。そして運動会終了後に、子ども達から「楽しかった！」という言葉が沢山聞かれたことは、職員にとって何よりも嬉しい言葉でした。

子ども達は出来なかったことに挑戦したり、諦めずに頑張ったり、友達と力を合わせたりすること等を通して、心もたくさん成長していきます。これからも日々の遊びを通して、子どもの「やる気」を尊重しつつ、頑張ってみようとする気持ちの大切さを知らせながら、子ども達の自信や次への挑戦意欲に繋がるような教育・保育をしていきたいと思っています。

運動会を開催するにあたり、今年度初めて「運動会ボランティア」を募らせていただきました。園児席のテント設営や片付け等にご協力いただき、本当にありがとうございました。今後も、教育・保育活動を行う中で、保護者の皆様のお力をお借りしたいと思っています。ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



3歳児



運動会に向けての取り組み風景

4歳児



5歳児



小田原わんぱくらんどに行ってきました！ ～5歳児園外保育～

10月13日(金)に体を使って遊ぶことを好む姿が見られる5歳児が、バスに乗って「小田原わんぱくらんど」に園外保育に出掛けました。「小田原わんぱくらんど」では、アスレチック「小田原城アドベンチャー」で過ごしました。アスレチック内を走ったり、友達に声を掛けて様々な滑り台と一緒に滑ったり、ゆらゆらと揺れる雲梯に挑戦したりしていました。

保護者の皆様には、お忙しい中、お弁当作りにご協力いただきありがとうございました。子ども達は、沢山体を動かしたので「お腹空いた～」と言っておにぎりをほおばったり、友達のお弁当が気に入り、お互いに見せ合ったりする姿も見られました。



11月には、4歳児の園外保育を予定しています。秦野市にある「ぺこちゃん公園はだの」にバスに乗って出掛けます。公共施設の使い方を知らせたり、体を使って遊ぶ楽しさを味わえたらと思っています。保護者の皆様には、子ども達の体調管理とお弁当作りのご協力をよろしくお願いします。



実りの秋、大きなお芋が掘れました ～さつま芋掘り～



10月17日(火)に4・5歳児が、園の畑でさつま芋掘りをしました。今年も畑ボランティアの深谷さんのご協力のおかげで、さつま芋は順調に育ち、当日をとっても楽しみにしていた子ども達。ツルを刈った後、土を一生懸命に掘り、さつま芋を見つけると、自分ひとりの力で引っ張ったり、なかなか抜けない芋は「手伝って!」と友達に声を掛け、力を合わせて掘る姿も見られました。みんなで協力したおかげで、大小さまざまなさつま芋が沢山収穫出来ました。収穫したさつま芋は、給食で提供したり、焼き芋をしたりします。



5歳児はグループごとに掘った芋を「かご」に分け、それぞれのグループでどのくらい掘れたのか、芋を数える活動が始まりました。

かごに入れたままだと数えにくいことが分かり、かごから出して芋を並べて数え、数が分かると子ども達の興味は、数から重さへと移っていきます。芋の重さを知るためにはどうしたら良いか、担任が子ども達に問い掛けると、普段自分達が身体計測で使用している体重計で測ってみようということになりました。同じ芋の数でも、重さが違うことに気づくと「なぜだろう?」と疑問に思う姿も見られ、互いに思ったこと、考えたことを伝え合っていました。数を数えたり、重さを測ったりした直接的・具体的な体験は、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿「数量や図形、標識や文字への関心・感覚」へと繋がっていきます。小学校で数や量について学習した時に、子ども達一人一人がこの直接的、具体的体験を振り返り、学びへと活かされていくと思います。



何色の花が咲くかな? ～チューリップ球根植え～



10月17日(火)に保護者ボランティアの方と一緒に3・4歳児がプランターにチューリップの球根を植えました。小さな穴を掘り、球根を大事に手で持ち「とんがりあたま」を上にしてそっと寝かせ、土の布団を掛けています。春になったら赤やピンクの花が咲くことを想像しながら、植えた後にたっぷり水をやっていました。チューリップの世話を通して、自然の不思議さを感じたり、感動したりすることを味わってほしいと思います。

